

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	ひとりひとりの人格を尊重し、声掛けし接しているが、感情的になっていることもある。	感情的にならず、優しく接して、言葉使いに気を付ける。	職員研修にスピーチロックの研修を行なう。感情的な言葉使いにならないように、お互いに注意し合えるようにする。	12ヶ月
2	40	入居者にとって食事は、楽しみのひとつである。献立で副食の残菜が多い時がある。エプロンを食事前につけている。	入居者の好みを取り入れてもらえるように、栄養部と話し合う。エプロンは、首に負担の無い付け方を工夫して食事前につける。	栄養部と話し合う時間を設ける。短時間でもいいので、入居者の要望を伝えるようにする。エプロンの使用は食事直前に決めていく。	12ヶ月
3	10	家族の訪問時の話の中で、苦情ではないかと捉えている。職員会議などでみんなで話し合いを行なっている。	家族からの感謝の言葉や苦情があった場合は、記録に残していく。	家族からの感謝の言葉もある。家族の言葉を職員の励みにし、良い悪いに関わらず記録に残すようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。